

指定校番号	28086	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

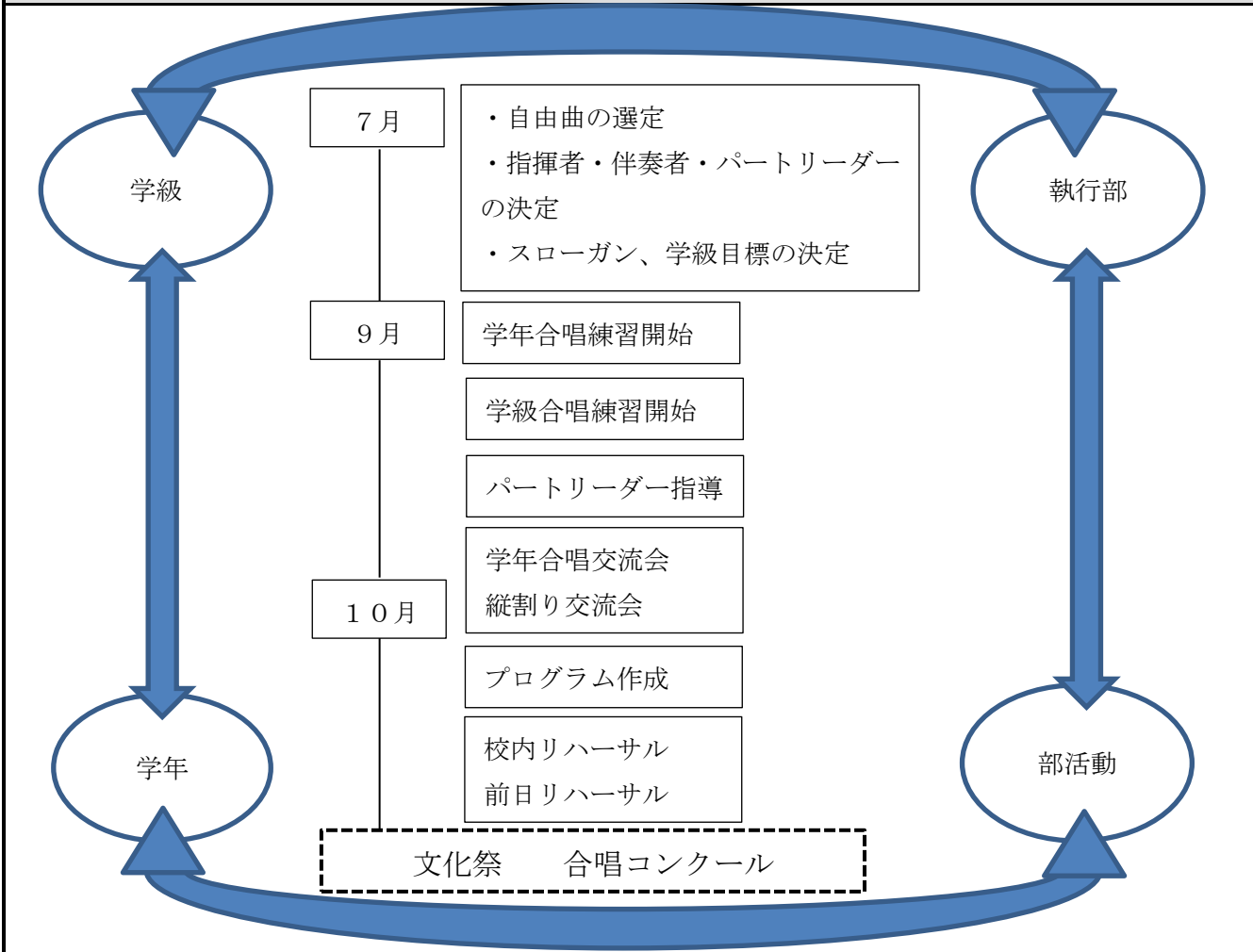
学校名	広島市立五日市観音中学校	校長	大下 茂	生徒指導主事	綿田 圭亮
-----	--------------	----	------	--------	-------

取組事例名 『文化祭 合唱コンクール』

取組のねらい『キーワード 努力の証～仲間の想いと共に～』

- 学級における合唱への取り組み、文化系クラブにおける活動を通して、生徒個々の積極性・独創性を引き出すとともに、生徒相互の協力する姿勢を養い、生徒の自治的能力の向上を図る。また、文化的行事への意識高揚を図る。
- 学年内、および学年を超えた交流を行い、互いに高まり合う生徒の育成を図る。

取組の具体的内容『キーワード 繋がる』



縦割り交流会



学級練習の様子



当日クラス発表 (上) 学年合唱 (下)



文化部の発表 家庭科部 (左) 吹奏楽部 (右)



取組の課題・創意工夫『キーワード 仕組む』

○生徒の自治能力を高めるための仕組

教員はリーダーと打ち合わせを行い（リーダー指導）、できるだけ全体への直接指導をしない。そのことによってリーダーを支える仲間作りへつなげる。

○世論づくり

日頃の何気ない会話や、生徒との個人ノート（生活ノートのようなもの）へのコメントなどから一人ひとりの考えを引き出し、雰囲気づくりをする。

取組の成果（効果）『キーワード 自尊感情』

○文化祭当日に行った保護者、地域の方のアンケートからは、生徒への激励や感謝などの声が多く寄せられ、「学校だより」に掲載した。

地域の方の声

色々な個性を持ったこども達がひとつになって歌いきる姿。こうして色々な困難、悩みを体験していく過程がとても大切な時期だと感じさせられました。一つ一つ乗り越えて成長して欲しいです。一生懸命な姿に感動！ありがとうございます！

○学校評価アンケートの結果より

「体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく参加している」

肯定的評価	生徒	保護者	教職員
平成28年度12月	86.4	90.5	97.0

3年生においては、H27年12月では、88.3%。H28年7月では89.7%。H28年12月では92.2%という変化が見られ、最上級生としての責任感や誇りが増してきているのではないかと考えられる。

「楽しく学校にかよっている」

肯定的評価	生徒	保護者	教職員
平成28年度12月	86.0	89.4	97.0

生徒の肯定的評価の内訳

1年生・・・87.8%

2年生・・・83.4%

3年生・・・87.8%

※3年生においては、H28年7月と比べ、5.2%も向上した。

アンケート結果より、いずれも高い数値を示した。3年生の生徒については、7月の結果より高い数値となり、自尊感情の高まる取組みにつながっているのではないかと考えられる。

今後の展開『キーワード 継続』

○生徒会活動やその他の行事においても、縦割り交流の取組みなどを意識し、生徒個々の積極性や生徒間の協力、生徒の自治的能力の向上を図ると共に、自尊感情を高める取組みを継続して行うこと。

○行事と日常生活を結び付けていく取組み（学級づくり）を担当が中心となり、学校全体で進めていく。

他校へのアドバイス『キーワード 伝統の力』

学年の枠を越えた縦割り交流会は、3年生のリーダーを中心に運営している。自分たちの手で行事を作り上げていく姿を、1・2年生が見ているため、各学年に応じた自治能力が養われている。同時に、自尊感情の高まりにもつながり、とても良い取組となっている。